

ガスふろ給湯器

取扱説明書 保証書付
特定保守製品

	設置 タイプ	品 名	型 式 名	号数
オート タイプ	壁掛	GX-A2000AF-1	GX-A2000AF	20号

このたびはガスふろ給湯器をお買い上げ
いただきましてありがとうございます。

この製品は『消費生活用製品安全法』に指定された特定
保守製品です。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みい
ただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところ
へ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、
または弊社窓口へご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月
をお知らせください。

**リモコン操作については、リモコン付属の取扱説明書
も併せてご覧ください。**

もくじ	ページ
製品の特長	1
安全に正しくお使いいただくために	2
この取扱説明書の表示について	2
機器本体の表示について	2
必ずお守りください	3
各部の名称とはたらき	8
機器本体	8
ご利用前の準備	9
機器の準備	9
工場出荷時の設定について	9
冬期の凍結予防をするには	10
再使用するとき	13
凍結してしまったとき	14
法定点検について	15
長期使用製品安全点検制度について	15
法定点検(有料)について	15
所有者登録について	15
この製品の設計標準使用期間について	16
法定点検の連絡先について	16
部品の保有期間について	16
点検のポイント・お手入れのしかた	17
点検のポイント(月1回程度)	17
お手入れのしかた(月1回程度)	17
循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)	18
給水口フィルターの掃除	18
点検・お手入れ後の確認	18
定期点検のおすすめ(有料)	18
故障かな?と思ったら	19
アラーム表示について	22
アフターサービスについて	23
仕様一覧	24
お知らせ	25
商品保証書	裏表紙

製品の特長

快適な「お湯のある暮らし」のための便利な機能を豊富に揃えました。どうぞお役立てください。

便利です!

- ◆お風呂もシャワー・給湯も、これ1台でOK。
- ◆リモコンのふろ自動を押すだけの簡単操作でお風呂が沸かせます。
- ◆予約タイマー付きだから、忙しい方も好きなときにバスタイム。

快適です!

- ◆お風呂のお湯の温度を自動的に保温します。
いつも快適なお風呂です。
- ◆ふろ配管をきれいにします。
ふろ配管内の残り湯を流しだす機能があります。
※ふろ配管内の残り湯を流しだす際には、ポンプの回る音がしますが故障ではありません。



環境にもやさしい!

- ◆リモコンは待機時の消費電力を低減するため、未使用時に画面表示を消す、省電力機能付きです。
- ◆残り湯はポンプ運転で洗濯機へ。水の節約(省資源)になります。
※浴槽の循環口の種類やリモコンによって利用できない場合があります。

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。



危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い

ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P.XX)

参照ページを示しています。

■機器本体の表示について

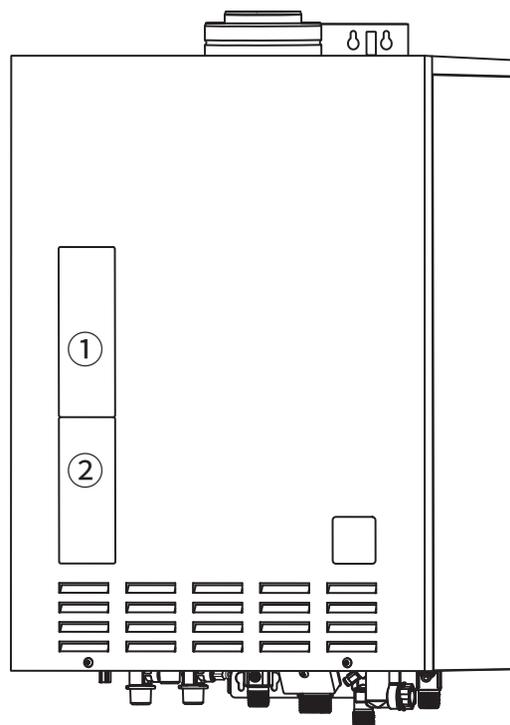
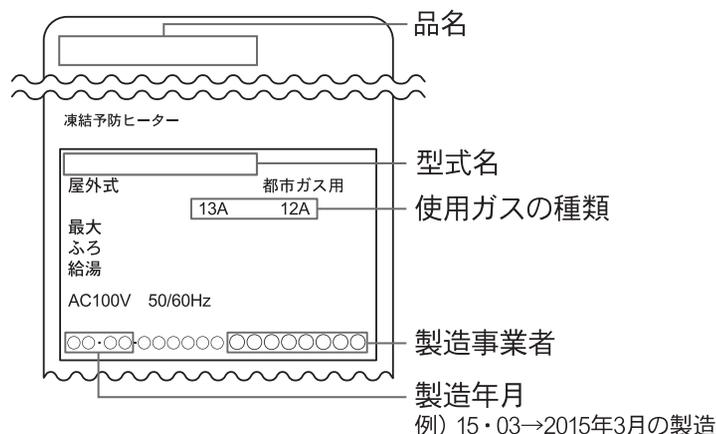
以下の方法で、製品の品名および製品タイプをご確認のうえ、取扱説明書をご覧ください。

①使用上の注意

使用上の注意について表示しています。

②銘板

品名・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者などを表示しています。



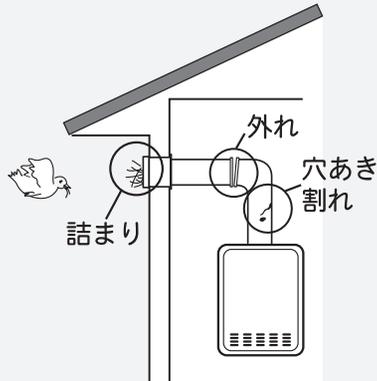
必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記しています。この内容は必ずお読みください。

⚠️ 危険

給排気筒の定期点検

- 給排気管（給排気筒トップを含む）が外れていたり、鳥の巣・落ち葉・すすなどで詰まっていないか定期点検をする。詰まっていると排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因となり、危険です。



ガス漏れに気づいたときは

- ① すぐに使用をやめて、給湯栓をすべて閉じる。
- ② ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
- ③ 窓や戸を開け、ガスを外に出す。
- ④ お買い上げの販売店または、最寄りのガス事業者に連絡する。



必ず行う



すべての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・火をつけない
 - ・電気器具のスイッチの入・切をしない
 - ・電源プラグの抜き差しをしない
 - ・周辺の電話を使用しない
- 炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。



火気禁止



⚠️ 警告

機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または弊社窓口へ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。



必ず行う

改造・分解禁止

- 絶対に改造・分解は行わない。改造・分解は、思わぬ事故や故障・火災の原因となります。



分解禁止

この機器は屋内設置用です

- この機器は屋内設置用なので屋外に設置しない。雨水の浸入などで、故障の原因になります。



禁止

ガス接続について

- この機器のガス配管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取り外しの際には必ずお買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。



必ず行う

給排気筒トップに囲いをしない

- 増改築などによって、給排気筒トップを屋内状態にしたり、ビニールや波板などで囲いをしない。一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止

機器本体やガスの接続部などに乗らない

- けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



禁止

このような場合は使用しない

- 増改築や家屋の修繕時（特に外壁の塗装）には、シートで給排気筒トップを覆うことがあります。そのような場合は機器を使用しない。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

給排気筒トップの前方に物を置かない

- 不完全燃焼や火災のおそれがあります。



禁止

お子様には十分な注意を

- 浴槽の湯（水）に潜ったり浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。



禁止

アース必要

- この機器は接地工事（アース）が必要なので、アースがされているか確認する。アースがされていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



アースを必ず接続せよ

電源コードの加工禁止

- 電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。



禁止

必ずお守りください

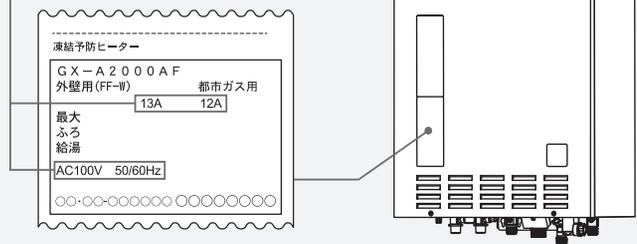
警告

機器の銘板を確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用してください。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。

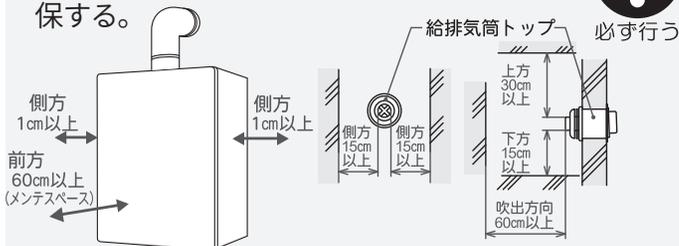
- 転居時の注意は(→P.23)

※図の銘板は都市ガス12A,13Aの場合この部分を必ずご確認ください。



火災予防のために必ず守ること

- 機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。



- 機器および給排気管(給排気管トップを含む)の周辺には紙や木材・洗濯物など、燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器および給排気管(給排気管トップを含む)の周辺では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。

電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

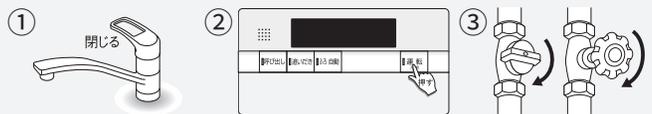
- ぬれた手で電源プラグを触らない。感電のおそれがあります。



異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は、以下の手順に従う。

- ①給湯栓を閉じる。
- ②リモコンの運転を「切」にする。
- ③ガス栓・給水元栓を閉じる。



- 給湯栓を開けても点火しない場合や使用中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合。

- ①ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
- ②「故障かな?と思ったら」(→P.19~22)に従って処置をする。

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または弊社窓口へ連絡する。

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

- シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。

- ・お湯を再使用するとき
- ・給水圧が下がったとき
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・機器が故障したとき



- 入浴するときは、手でお湯の温度を確認する。
- 給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。
- 給湯・シャワー使用中に、使用者以外がお湯の温度を変更したり、リモコンの運転を「切」にしない。
- お風呂沸かし(沸かし直し)や追いだし時には、循環口付近は熱くなることがあるので触らない。思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り

- ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

必ずお守りください

注意

用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、おふろ沸かし以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。



禁止

ソーラー機器とは絶対に接続しない

- (弊社指定のソーラーユニットを使用する場合は除く)お湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出て、やけどをしたり機器の故障の原因になります。



禁止

機器本体の高温部に触らない

- 使用中または使用後しばらくは、排気口付近に手で触らない。やけどのおそれがあります。



接触禁止

空だき防止

- リモコンの追いだきを押すときは、必ず浴槽の循環口(2穴の場合は上部循環口)より上に湯(水)が入っていることを確かめる。水位が循環口より低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となります。



必ず行う

子供についての注意

- 子供を機器の周囲や直下で遊ばせない。思わぬ事故の原因になります。



禁止

水漏れに気づいたときは

- 速やかに給水元栓を閉じ、機器の使用を中止する。床や壁などをぬらして生じる損害は、お客様の責任となります。



禁止

電源プラグを抜くときの注意

- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や火災の原因になります。



必ず行う

配管カバーについての注意

- 配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.18)



必ず行う

長期間使用しない場合

- 長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じる。



必ず行う

お願い

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。
- やけど対策上、サーモスタット式混合水栓の使用をおすすめします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

特監法対象機器

- この機器は、法的資格を有する者以外は設置または移設できません。また、機器に下のようなシールが貼付してあるか確認してください。

シールが貼付していない場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示	
工事事業者の氏名 又は名称及び連絡先	TEL
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び 施工年月日	年 月 日

リモコンの扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。台所リモコンには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。
- リモコンはお子様がいとらないよう注意してください。

断水のと

- 給湯栓を閉じ、リモコンの運転を「切」にしてください。
- 断水から復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理用などに使用しないでください。飲用や調理用に適さない水が、給湯配管内にとどまることがあります。

飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水(たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで)は、飲まないで雑用水としてお使いください。

通水使用の禁止

- リモコンの運転を「切」にした状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命を短くします。(冬期の凍結予防を除く)

必ずお守りください

お願い

電源プラグを抜かない

- お手入れや水抜き(凍結予防・長期不在時)を行うとき、または突発的な自然災害(雷等)以外は、電源プラグを抜かないでください。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたら速やかに使用を中止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



電源プラグを抜く



ぬれ手禁止



感電注意

雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電安全装置が作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」(→P.10)に従って処置をしてください。怠ると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 凍結したときは■凍結してしまったとき(→P.14)に従って処置をしてください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。
- 停電または電源プラグをコンセントから抜いた場合は、リモコンの現在時刻の設定を行い、表示を確認してからご使用ください。
- 自動でお風呂を沸かしているときに停電になると、ふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。通電後、リモコンの取扱説明書の■沸かし直しをするにはの操作を行ってください。

入浴時の注意

- 循環口を外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽の循環口をタオルなどで塞がないでください。循環不良によりお風呂沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になります。

日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。(→P.17)
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 循環口フィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の循環口フィルターが詰まると、浴槽の湯温が不均一になったり、沸き上げる前に消火することがあります。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等で拭き取ってください。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸・強アルカリの洗剤および、硫黄・酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確認し、機器への悪影響がないものをご使用ください。
- ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、フィルターや追いだき配管内にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 薬草やゆず入り入浴剤の場合は、薬草などがフィルターや機器内部に詰まることがありますので、ご使用を避けてください。

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示や燃焼ランプで確認してください。

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。浴槽についても、一般家庭用サイズをご使用ください。

長期間使用しないときは

- 機器の水を抜く方法(→P.12)に従って、水抜きを行ってください。水が長い間流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。

必ずお守りください

お願い 設置する場所や状況について

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼・燃焼ファン・ポンプ回転)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)
- 足場などを組んだり、ハシゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 壁や塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと燃焼不良の発生を防止するために空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。

排気ガス

- 増改築時には、排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに、当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。

塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯が噴き出したり、多量の水漏れの原因になります。(ただし、オーバーフロー配管は除きます)

積雪時の閉塞について

- 積雪時は給排気管(給排気筒トップを含む)の点検、除雪を行い、積雪や屋根から落ちた雪により給排気筒トップが塞がれないように注意してください。異常着火・燃焼不良の原因となります。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

地下水や井戸水の注意および温泉水使用不可

- この機器は上水道用です。地下水・井戸水(簡易水道を含む)を使用されると、水質によっては機器内の配管内部に異物が付着したり短期間で銅管を腐食させるなど、耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。地下水・井戸水(簡易水道を含む)を使用する場合は施工前に十分水質^{*}を確認してください。ただし、地下水・井戸水(簡易水道を含む)には様々な成分が溶け込んでいるため、機器に対する影響は正確に判断できませんので、保証期間内でも有料修理となります。

※飲料水適合していることを原則として、硬度60mg/l以下・pH7～8・遊離炭酸4mg/l以下が望ましい。

- 温泉水は使用しないでください。

ほこり

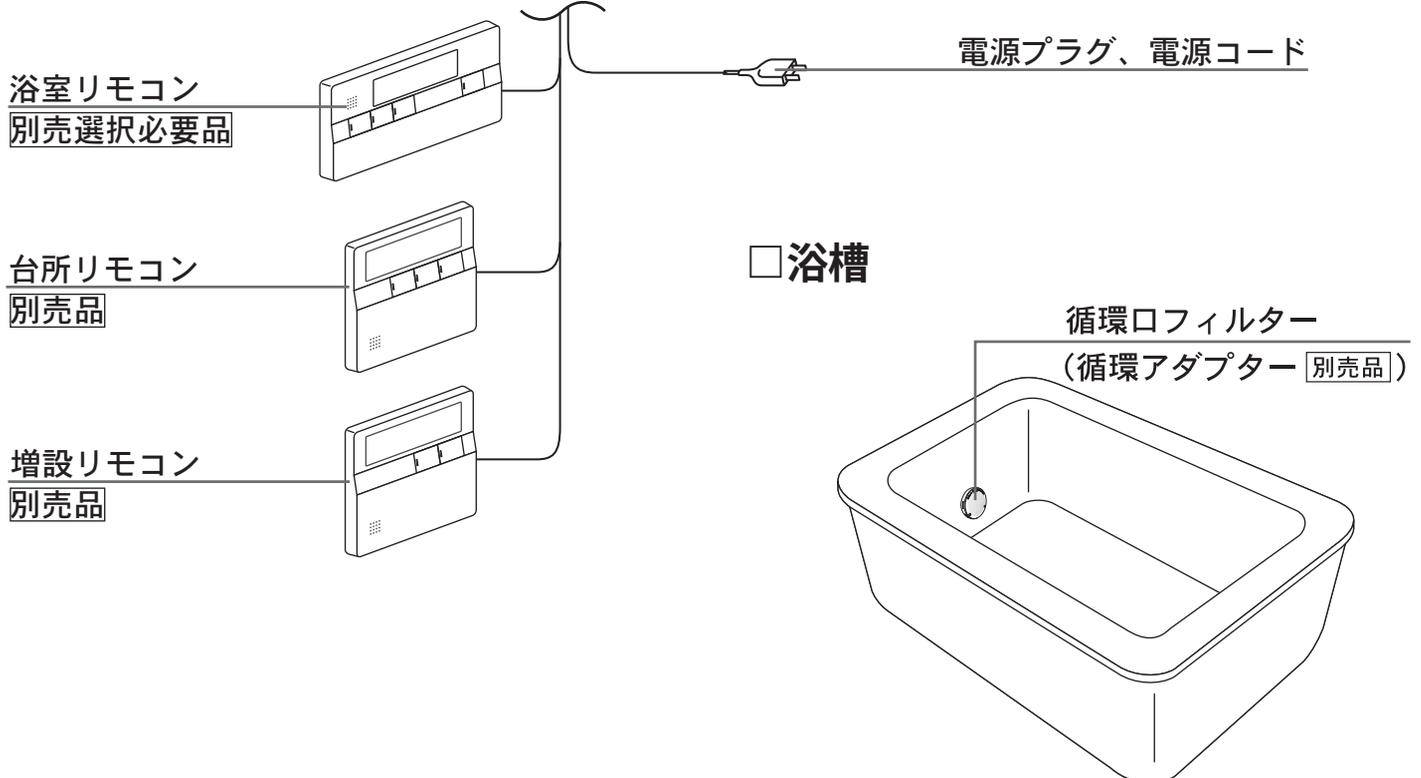
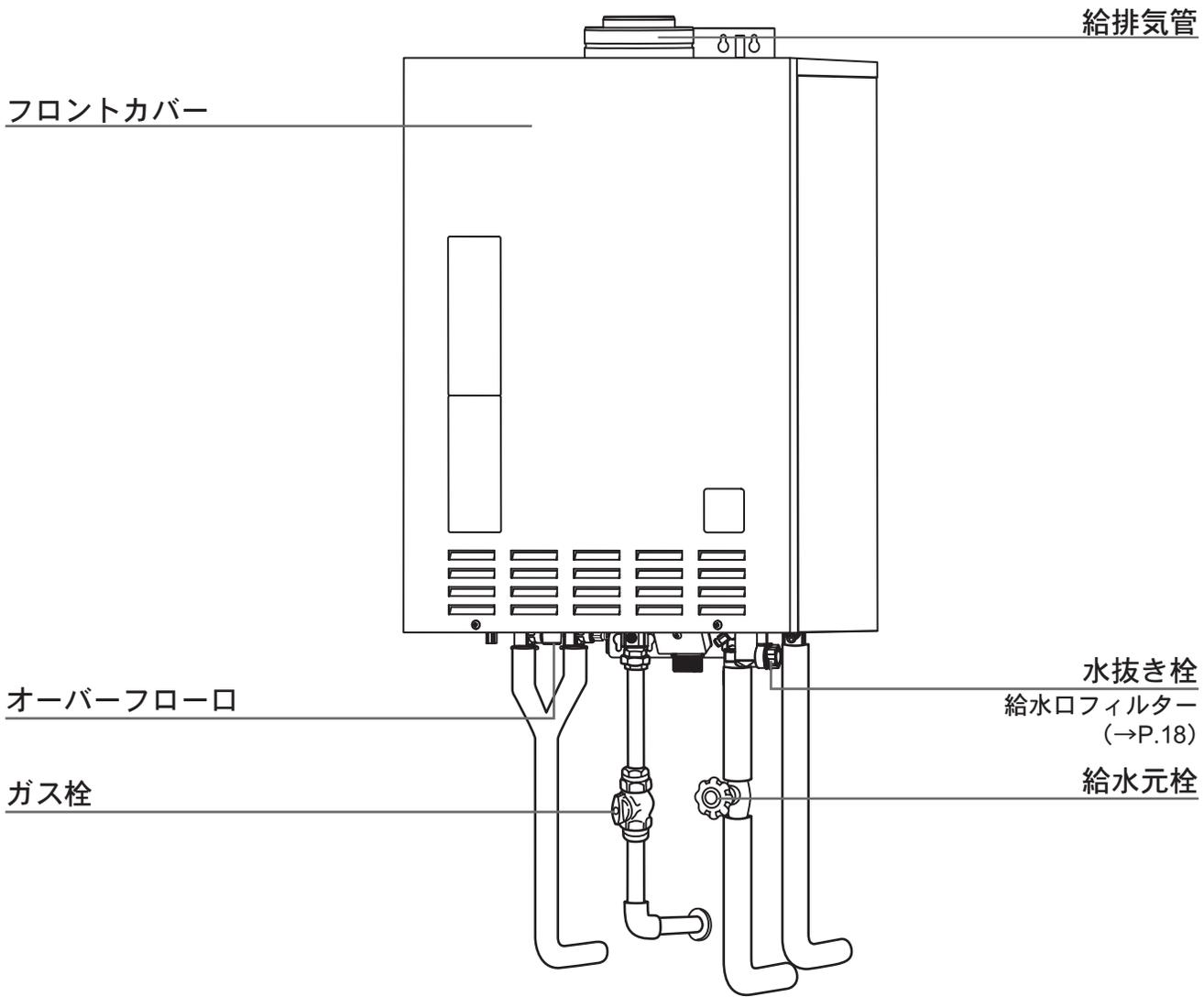
- 砂・油煙・ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給排気筒トップを塞いだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

各部の名称とはたらき

■機器本体



ご利用前の準備

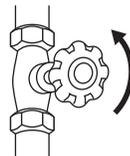
はじめてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。

■機器の準備

1 機器や機器周辺の点検・確認を行う

■点検のポイント(→P.17～18)をご覧ください。

2 給水元栓を全開にする



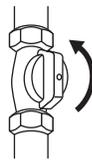
機器の下部にあります。

3 給湯栓を開ける



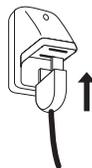
水が出ることを確認したら閉じます。

4 ガス栓を全開にする



機器の下部にあります。

5 電源プラグをコンセントに差し込む



機器の周辺にあります。

■工場出荷時の設定について

工場出荷時の設定は以下のようになっています。

タイプ	給湯温度	ふろ温度	ふろ水位	保温時間	ふろ待機設定
オート	40℃	40℃	通常浴槽設定 6 (180ℓ)	4時間	給湯優先(ふろ待機設定[する]) ※変更不可

※浴槽の種類や施工条件によって、リモコンに表示される温度や水位は実際と多少異なる場合があります。リモコンの表示は目安としてお考えください。

お知らせ

- この機器のふろ待機設定は給湯優先(ふろ待機設定[する])に設定されています。リモコンにて設定変更操作を行っても、ふろ優先(ふろ待機設定[しない])に変更できません。
- ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯運転中に給湯を使用すると、条件によっては給湯栓から出るお湯の量が少なくなったり、お湯がぬるくなったりすることがあります。

冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。

お願い

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。



処置 1 凍結予防装置による方法

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータと浴槽の水(湯)を循環して、ふる配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。

機器の電源プラグは、抜かない

電源プラグを抜いたり電源ブレーカーを切ると凍結予防装置がはたらきません。

- ◆凍結予防装置は、運転ボタンの「入」/「切」に関係なく作動します。
- ◆配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材または電気ヒータを巻くなど、地域に応じた処置をしてください。

浴槽の水(湯)は循環口上部より5cm以上高い位置にする

浴槽の水(湯)を循環し、凍結予防をするため浴槽の残り湯は捨てずに、そのままにしておいてください。

- ◆浴槽の水(湯)を循環する凍結予防の動作中は、リモコンにを点滅表示します。

台所リモコン表示例



※リモコンの運転ボタン「切」や省電力待機中は表示しません。

お願い

- お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転ボタンを「入」にしてください。

☺ 冬期の凍結予防をするには

処置 2 給湯栓の水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

1 運転ボタンを「切」にする

必ず行います。

2 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続ける

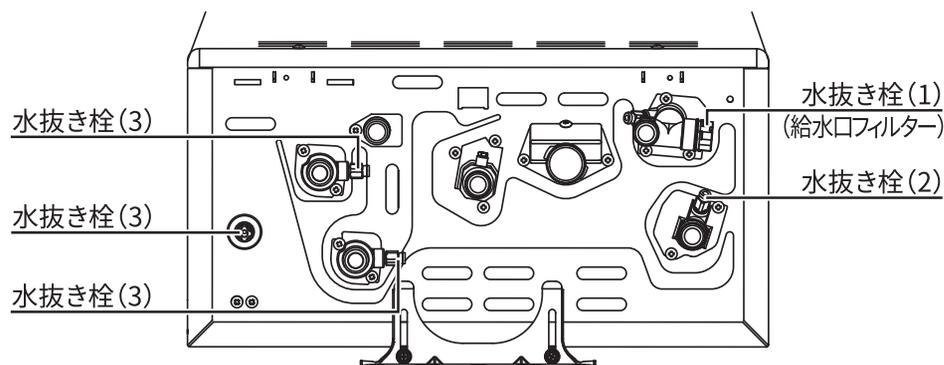
流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後に流量を確認してください。

※サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は最高温度側にします。



- 給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
- 通水使用の禁止として、運転ボタンを「切」にした状態で給湯栓を開けて水を出さないようお願いをしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。(→P.5)
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓をご利用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

□ 水抜き栓位置図



冬期の凍結予防をするには



注意

- 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。
- 配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P.18)

処置 3 機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。

1 ガス栓と給水元栓を閉じる 機器の下部にあります。

2 浴槽の水を完全に排水する

3 浴室リモコンの運転ボタンを「入」にし、追っだしボタンを5秒間押し続ける ※浴槽の水が排水されていないと浴室リモコンに「032」が点滅します。再度、浴槽の水が排水されているか確認してください。

4 すべての給湯栓を全開にする

5 水抜き栓(1)を外し、(2)(3)を水が出るまでゆるめる ※水抜き栓の位置は、□水抜き栓位置図(→P.11)をご覧ください。

6 必ず電源プラグを抜く 機器の周辺にあります。電源プラグを抜き忘れると機器の故障の原因となります。

7 水抜き栓からの排水を確認し、すべての水抜き栓を元に戻す

お願い

- 水抜きをした後は浴槽へ水を流しこまないでください。再び使用するまでそのままにしておいてください。
- 水抜きの操作をすると、機器本体だけでなく配管内の水も出てきます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

冬期の凍結予防をするには

■再使用するとき

水抜き後、再度使用するときは次の操作をしてください。

1 すべての水抜き栓およびすべての給湯栓が閉じていることを確認する

※水抜き栓の位置は、水抜き栓位置図(→P.11)をご覧ください。

2 給水元栓を開ける

3 機器や配管より水漏れがないか確認する
また、すべての給湯栓を開け、水が出ることを確認したら閉める

4 ガス栓を開け、電源プラグを差し込む

5 リモコンの運転ボタンを「入」にする

6 ふろ自動ボタンを押し、循環口からお湯が出ることを確認する

※しばらく(1分程度)しても循環口からお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。

お願い

- 再使用するときは、水抜き栓を元に戻し、確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れていたりすると、そこから水漏れします。

冬期の凍結予防をするには

■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待つて、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

1 ガス栓および給水元栓を閉じる

※給水元栓を閉じるのは、配管が破損していた場合の水漏れを防ぐためです。

2 リモコンの運転ボタンを「切」にする

3 ときどき給水元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します 水が出てくれば使用できます

4 給水元栓を全開にし、ガス栓を開ける

必ず、機器および配管から水漏れがないことを確認します。

5 リモコンの運転ボタンを「入」にする

6 ふろ自動ボタンを押し、機器の水漏れや追いだき配管が凍結していないか確認する

※しばらく(1分程度)しても循環口からお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。

お願い

- 給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、全ての給湯栓を閉じてから水道メーターを見るなど水漏れしていないことをご確認ください。
- 機器や配管が破損し、床や壁などを濡らして生じる損害はお客様の責任となります。

法定点検について

■長期使用製品安全点検制度について

この製品は消費生活用製品安全法(消安法)で指定された特定保守製品です。

- 特定保守製品とは『消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等から見てその適切な保守を促進することが適当なもの(消安法第2条第4項)』として指定された製品です。

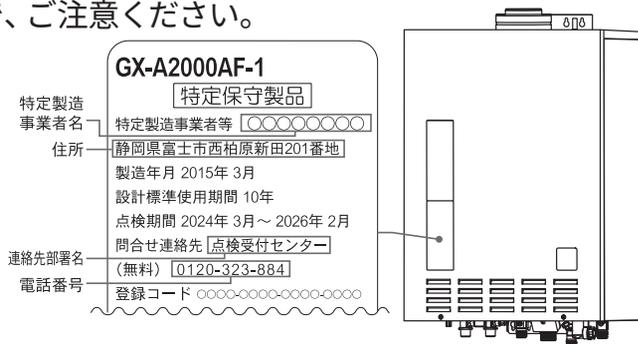
■法定点検(有料)について

特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが製品の所有者の債務として求められています。(消安法第32条の14)この製品に表示してある点検期間になりましたら、忘れずに点検を受けてください。

なお、法定点検後も機器を継続して使用する場合には、こまめに(年1回程度)点検を受けることがこの機器を安全にご使用いただくために必要となりますので、ご注意ください。

また、法定点検は、法定点検の基準に製品が適合しているかどうかを確認するものであって、その後の安全を担保するものではありません。

- ◆この製品の点検期間は右図のように表示しています。
- ◆この製品は設計標準使用期間10年の前後1年間を法定の点検期間として設定しています。点検期間には忘れずに法定点検(有料)をご依頼ください。



■所有者登録について

特定保守製品の所有者は、この製品の製造事業者により法定の所有者登録をすることが求められています。(消安法第32条の8第1項および第2項)

下記、所有者登録の方法をご覧ください。いずれかの方法で、ご登録をお願いします。

また、引越し等で住所が変わった場合や所有者が変わった場合など、所有者登録の内容に変更が生じた場合は、速やかに登録内容の変更をお願いします。変更のご登録をしない場合は点検通知が届きません。所有者登録情報に関するお問い合わせは「■法定点検の連絡先について」をご覧ください。

なお、ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および弊社規定により、適切な安全対策の元に管理し、法定点検・リコール等製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

所有者登録の方法

所有者票(返信はがき)で登録する

- 添付の所有者票に必要事項をご記入の上、投函してください。



インターネット(パソコン)で登録する

- ホームページ(<https://user.purpose.jp/takagi/pcIndex.jsp>)へアクセスし、画面の案内に従って登録をお願いします。



モバイル(携帯電話)で登録する

- 添付の所有者票のQRコードを読み取り、携帯サイトの画面に従って登録を行ってください。ご使用中の携帯電話がQRコードに未対応の方やURLがうまく受信できない方は、所有者票(返信はがき)またはインターネット(パソコン)での登録をお願いします。



※所有者登録は聞き間違い等による誤登録を防ぐため、お電話での受付はしておりません。

法定点検通知について

- 法定の所有者登録をいただいた方に、法定点検の通知をいたします。(消安法第32条の12)通知は弊社から、はがきにて送付します。
- 法定点検に関するお問い合わせは、「■法定点検の連絡先について」(→P.16)をご覧ください。

法定点検について

■この製品の設計標準使用期間について

この製品の設計標準使用期間は10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えてご使用になると、経年劣化による一酸化炭素中毒や火災等の事故に至るおそれがあります。

設計標準使用期間とは

標準的な使用条件(下記の「設計標準使用期間の算定の根拠」参照)の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです。(消安法第32条の3) 無償保証期間とは異なります。

設計標準使用期間の算定の根拠

この製品の設計標準使用期間は、製造年月を始期とし、給湯部については、JISS 2071「家庭用ガス温水機器・石油温水機器の標準使用条件及び標準加速モード並びにその試験条件」の「6 標準加速モード」に従い、ふろがま部については、JISS 2072「家庭用ガスふろがま・石油ふろがまの標準使用条件、標準加速モード及び試験条件」の「4 ふろがまの標準使用条件」に従って以下の標準使用条件で、耐久試験を行い、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設定しています。

標準使用条件					
家族構成	4人世帯	使用日数/年	365日	電源電圧/周波数	100V(50Hz/60Hz)
給湯部	用途	洗面・台所・湯張り・シャワー	給水温度	15℃	
	季節	中間期(春、秋)	出湯温度	40℃	
	気温/湿度	20℃/65%	1日使用量	456ℓ	
			使用時間/日	1時間	
ふろ部	ふろの沸かし上げ/日	1回(15℃から40℃)	入浴回数/日	1回	
	保温(追いだき)/日	2回	浴槽の標準水量	180ℓ	

！お知らせ

- 上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境(高温・多湿・寒冷地・海岸近辺(塩害地域)・高地(海拔1,000m以上)・温泉水・井戸水・地下水使用など)などで使用した場合は、設計標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されますので、製品に表示している点検期間より早期の点検を実施してください。お客様ご自身が思い当たる場合や気になる点がある場合は下記にご連絡ください。

■法定点検の連絡先について

所有者登録情報の変更・法定点検に関するお問い合わせ・法定点検の点検作業のご依頼

点検受付センター お問い合わせ先(無料)：0120-323-884 受付時間/年中無休 9:00～17:00

- 点検費用はお客様にご負担いただくこととなります。点検料金につきましては、パーパス点検受付センターへお問い合わせください。また、点検の結果、整備・修理が必要となった場合は別途費用が発生します。
- 法定点検は全国のサービス店で対応いたします。
また、ホームページ(<http://www.purpose.co.jp/>)からもご確認いただけます。

■部品の保有期間について

この機器の部品の保有期間は以下のとおりです。

部品	保有期間	部品内容(部品名)
点検に係わる整備用部品	11年	点検の結果必要となると見込まれる部品です。 パッキン・Oリング・点火プラグ・イグナイター・フレームロッド・ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ・温度検出サーミスタ
補修用性能部品	10年	機器の機能を維持するために必要となる部品です

点検のポイント・お手入れのしかた



警告

●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。



分解禁止

■点検のポイント(月1回程度)

次の6つのポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭いがしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、および給排気管(給排気筒トップを含む)のそばに燃えやすいものはありませんか？
また、整然とされていますか？
機器のまわりが紙くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはつたりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
- 6 浴槽に循環口フィルターがついていますか？



長年ご使用の場合、こんな症状が出ていませんか？

毎日、普通に使用している給湯器も5年、10年と長期間のご使用により、ちり・ほこりや羽虫などが少しずつ内部部品に詰まり、初期性能を発揮できなかつたり、さまざまな不具合を生じることがあります。今お使いの機器を安全にご使用いただくために、状態を確認して次のような症状がみられる場合は使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。

- ①最近、シャワーなどお湯の温度がいつもよりぬるくなったと感じた。
- ②高温にセットしても、高温のお湯が出ない。
※常に40℃前後でご使用のお客様は、月に1回程度高温にセットして、高温のお湯が出ることを確認してください。
- ③お湯が熱くなつたり、ぬるくなつたりする。
- ④給湯器の給排気筒トップから煙が出ていたり、変なにおいがする。
- ⑤給湯器の給排気筒トップの周りが黒くなっている。

■お手入れのしかた(月1回程度)

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、湿ったやわらかい布で軽く拭き取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変色・変形する場合があります。



！お知らせ

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
また、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
- 台所リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

お願い

- 洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

点検のポイント・お手入れのしかた

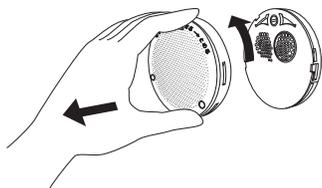
■循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、追いだきができなくなります。

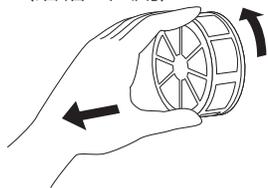
循環口フィルターの外し方

循環口フィルターを、左に回して手前に引きます。

JA-301タイプ



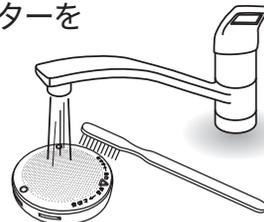
下部循環口フィルター
(浴槽2穴用)



循環口フィルターを掃除する

歯ブラシなどで洗います。

掃除後、循環口フィルターを元に戻します。



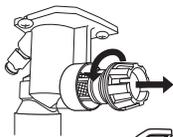
■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。

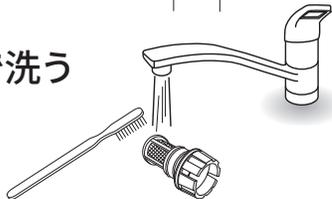
次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に、新築の場合)

1 給水元栓を閉じる
給湯栓を開けて閉じる

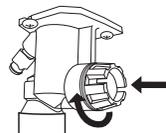
2 水抜き栓を外す



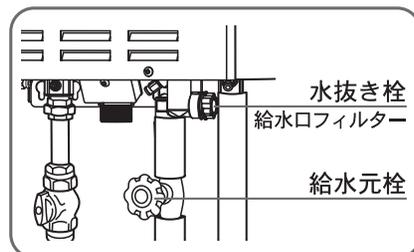
3 歯ブラシなどで洗う



4 水抜き栓を元に戻す



5 給水元栓を開ける



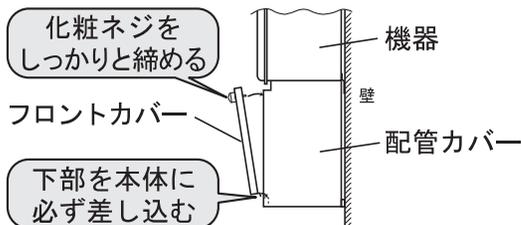
■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後はガス栓を開いて、リモコンの運転を「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

配管カバーのフロントカバーについて

配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーを元に戻してください。

- ①カバーの下部をしっかりと差し込み、外れないことを確認。
- ②化粧ネジを確実に締める。



■定期点検のおすすめ(有料)

- 機器を安心してより長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては、4～6年に1回程度の点検をおすすめします。点検はお買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。



- 循環口フィルターは必ず取り付けてご使用ください。循環口フィルターを付けないで運転すると、ポンプ等の故障の原因となります。
- 給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

長くお使いいただくために

故障かな?と思ったら

給湯栓やシャワーから出るお湯	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
給湯栓を絞りすぎて水になった	給湯栓から出るお湯の量をかなり少なくすると機器が燃焼を止め水になります。お湯の出る量を増やしてください。
給湯栓を開いてもお湯が出ない 給湯栓を開いてもお湯にならない	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか。 断水していませんか。断水中は機器を使用できません。 給湯栓が十分に開いていますか。少ないとお湯にならない場合があります。 夏場など、水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯になりません。 給水口フィルターが詰まっていますか。給水口フィルターの掃除をしてください。 リモコンにアラーム番号が点滅表示していませんか。(→P.22) お湯を1時間以上連続使用しませんでしたか。 ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか。 LPガスの場合、ガスがなくなっていますか。 リモコンの運転が「入」になっていますか。 凍結していませんか。 停電していませんか。 機器の電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	給水元栓を全開にしてください。 給湯温度の設定は適切ですか。 夏場など、水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。 少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。
高温のお湯が出ない	ガス栓を全開にしてください。 給湯温度の設定は適切ですか。 エコ出湯機能がはたらくと、およそ5ℓ/分の出湯量のとき、低温(32℃)のお湯になります。
給湯温度の調節ができない	操作しているリモコンに「優先」が点灯していますか。 リモコンの取扱説明書「 給湯温度が変更できないときは 」をご覧ください。
給湯栓から出るお湯の量が変化する	お湯を使用中他の場所でお湯を使用したり、「ふろ自動」や「たし湯」をするとお湯の量が減る場合があります。 湯温を安定させるために自動的に湯量を調整しています。すぐに湯量は安定します。 給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変わるものがあります。
お湯が白く濁って見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。汚濁とは違い無害なもので、異常ではありません。

故障かな?と思ったら

お風呂	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
お風呂の温度が熱い お風呂の温度がぬるい	ふろ温度の設定は適切ですか。 循環口フィルターが詰まっていますか。循環口フィルターの掃除をしてください。
お風呂のお湯が少ない(多い)	ふろ水位の設定は適切ですか。 循環口フィルターが詰まっていますか。循環口フィルターの掃除をしてください。 残り湯がある状態で「ふろ自動」を行うと、水位が高くなる場合があります。 ふろ設定温度に近い残り湯がある状態で「ふろ自動」を行うと、お湯張りをしない場合があります。
「ふろ自動」の初めにお湯張りがときどき停止する	正確にお湯張りを行うため、浴槽の残り湯を確認するための動作です。異常ではありません。
お風呂を使用していないのに循環口からお湯(水)が出る	お湯を使用すると機器内が温まり、配管に残っている水が循環口から出る場合があります。 凍結予防のためにポンプが回ったとき、配管に残ってる水が循環口から出る場合があります。 水圧が高い地域などでは、圧力を逃がすために過圧防止安全装置がはたらきま す。そのため、循環口より湯(水)が出る場合があります。
追いだきができない 追いだきが停止する	循環口フィルターが詰まっていますか。循環口フィルターの掃除をしてください。 循環口上部より5cm以上お湯(水)が入っていますか。足りない場合はお湯(水)を足してください。
お風呂の沸き上がりがいつもより時間がかかる	「ふろ自動」と給湯を同時に行うと、給湯使用中の間はお風呂のお湯張りが一時中断します。給湯を止めるとお湯張りを再開します。そのためお風呂の沸き上がりにかかる時間がいつもより長くなります。 給湯・お風呂沸かしを同時に行うと能力が下がり、沸き上がりまでに時間がかかる場合があります。

リモコン	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
運転ボタンを押しても「入」にならない	停電していませんか。 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。
リモコンの画面表示いつのまにか消えている	お湯を使わないまま、またはリモコンの操作をしないまま約5分たつと、画面表示が消えます。(省電力待機中)
リモコンの時刻表示が「--:--」になっている	停電や電源プラグを抜いた後、再通電すると時刻の表示は「--:--」になります。リモコンの取扱説明書をご覧ください
音が出ない	音量の設定が  や  になっていませんか。リモコンの取扱説明書をご覧ください。
音が小さい 音がこもる	音量の設定は適切ですか。 スピーカー部分に湯(水)がかかっていますか。
画面に  が点滅している	凍結予防のためポンプが作動しているとき、画面に表示します。

長くお使いいただくために

故障かな?と思ったら

機器	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
排気口から白い湯気が出る	冬に吐く息が白く見えるのと同じように、排気ガス中の水蒸気が白く見えます。異常ではありません。
給湯使用中や給湯終了後しばらくの間コトコトと音がする	お湯の温度を安定させるためにモーターを動かしているときに発生している音で、故障ではありません。
追いだき中にファンの回転音が大きくなったり小さくなったりする	ファンモーターの回転数が変化することによるもので、故障ではありません。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
「ふる自動」保温中にときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するため、およそ15～60分間隔で回ります。
運転終了後もしばらくポンプが回る	「ふる自動」・「追いだき」・「ぬるく」・「たし湯」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
冬場など気温が低いとき追いだきのポンプが自動的に動く	凍結破損予防のため、ポンプが自動運転を行っています。
浴槽・洗面台が青く見える	湯あかが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがありますが、健康上問題はありません。浴室や洗面台の掃除をこまめに行うことで着色しにくくなります。
ときどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓がしっかり閉じていないと水漏れします。

故障かな?と思ったら

■アラーム表示について

機器に不具合が生じたとき、その原因に応じてアラーム番号が点滅表示し、自動的に運転が停止します。

〔浴室リモコン〕

番号によっては、給湯やふろ温度表示部に補足の番号が出ることがあります。ご連絡の際は、アラーム番号と併せてお知らせください。



〔台所リモコン〕

簡易表示のため、アラーム番号のみを点滅表示します。



お客さまで対処が可能なもの		
アラーム番号	原因	処置方法
011	給湯を60分以上連続で使用した	給湯栓を閉じる。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
032	水抜き操作時の浴槽排水忘れ	浴槽の湯(水)を排水する。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
111※1	給湯側の点火不良	ガス栓が全開になっていることを確認する。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
121※1	給湯側失火	※1 アラーム番号111・121が表示されたときは、給湯栓を閉じることによりアラームが解除される場合があります。
252	浴槽の排水栓閉め忘れ	浴槽の排水栓を閉める。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
	追いだき時に浴槽のお湯(水)が足りない	運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。 循環口の上部より5cm以上お湯(水)を入れてから追いだきする。
562	循環口フィルター詰まり	循環口フィルターを掃除し、正しく取り付ける。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
	注湯・注水ができない	断水でないこと、または給水元栓が全開になっていることを確認する。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。

以下の場合には、お買い上げの販売店、または弊社窓口までご連絡ください

アラーム番号	原因
101	燃焼に異常が生じたため、良好な燃焼を維持できなくなった 機器は使用できますが、安全のため修理を依頼してください そのまま使用すると“991”となり、機器の使用ができなくなります
130	燃焼に異常が生じたため 窓を開けて室内の換気をし、修理を依頼してください
380	機器の燃焼累計時間が一定時間を越えた 機器はしばらく使用できますが、COセンサーが寿命のため、修理を依頼してください COセンサーが故障した 機器は使用できません 修理を依頼してください
888	一般的な使用で10年相当使用したので、点検お知らせ機能がはたらいた 点検(有料)を依頼してください
991	修理を依頼してください
その他のアラーム	
030	140 300 302 311 312 321 322
331	391 422 510 511 610 632 661
700	710 711 721 740 750 760 900

◇処置方法を試してもなお、アラームが表示されるときやその他わからないときは、お買い上げの販売店、または弊社窓口までお問い合わせください。

長くお使いいただくために

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P.19～22)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合にはご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) お名前・ご住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2) 品名(例) GX-A2000AF-1
ガスの種類(例) 13A
※品名・ガスの種類は機器本体下部の銘板をご覧ください。(→P.2)
 - (3) 現象(故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
 - (4) 訪問ご希望日

保証について

- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証期間・保証内容等をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後10年です。

BL 認定品について

- BL 認定品には、機器の前面にBL マークの表示があります。
- BL 認定品は、「瑕疵保証」と「損害賠償」のBL 保険付きです。

※BL 認定品についてのお問い合わせは一般財団法人ベターリビング TEL:03-5211-0680(お客様相談室)までご連絡ください。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または弊社窓口へお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を閉じます。
 - (2) 給水元栓を閉じます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。(→P.12)
 - (4) 電源プラグを抜きます。

仕様一覧

〔仕様表〕

項目	内容	
品名	GX-A2000AF-1	
型式名	GX-A2000AF	
外形寸法(mm)	幅470×奥行240×高さ630	
質量(kg)	28(満水時30)	
種類	給湯方式 先止め式	
設置方式	屋内壁掛設置式(FF型)	
点火方式	AC100V連続放電式(ダイレクト着火)	
使用水圧	100～750kPa(1.0～7.5kgf/cm ²)	
最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm ²)	
接続	ガス	15A(R1/2オネジ)
	給水・給湯	15A(R1/2オネジ)
	追いだき往・戻	15A(G1/2オネジ)
	オーバーフロー	15A(R1/2オネジ)
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)
	リモコン側	DC24V以下
	待機時	2.5W(1.2W:COセンサ分を除く、浴室・台所リモコン取付時)
	同時使用	140W
安全装置	凍結予防	電気ヒータ120W 電気ヒータ+ポンプ運転180W
	電源コード/リモコンコード	VCT(2心)機外長2.0m/FMY02-〇〇(2心)
安全装置	ファン回転検出装置(燃烧ファン) 漏電安全装置(漏電スイッチ) 立消え安全装置(フレームロッド) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 凍結予防装置(凍結予防ヒータ・ポンプ運転) 空だき安全装置(パイメタル式) 過電流防止装置(電流ヒューズ) 空だき防止装置(水量センサ・水流スイッチ) 燃烧監視装置(COセンサ) 過熱防止装置(温度ヒューズ)	

〔能力表〕

使用ガス	使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量 kW {kcal/h}			出湯能力(最大) ℓ/分		ガス接続
		給湯・ふろ同時使用	給湯(最大)	ふろ	水温+25°C上昇	水温+40°C上昇	
都市ガス	13A	52.1{44,800}	42.8{36,800}	11.6{10,000}	20.0	12.5	15A (R1/2)
	12A	48.5{41,700}	39.9{34,300}	10.8{9,300}	18.7	11.7	
LPガス		52.1{3.72kg/h}	42.8{3.06kg/h}	11.6{0.83kg/h}	20.0	12.5	

◎ ガス: JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。

◎ 出湯能力は、水圧200kPa {2kgf/cm²}のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎ 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

長くお使いいただくために



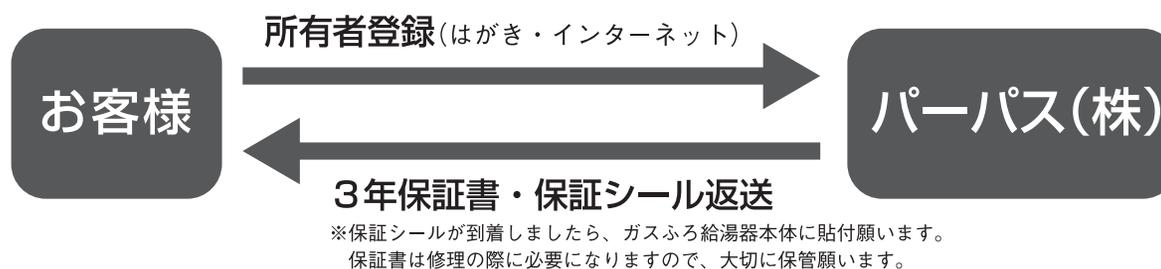
所有者登録をすると

通常2年の
保証期間が

3年保証になります

この度は、パーパス製品をご購入いただき誠にありがとうございます。
同封の所有者登録はがきに必要事項をご記入の上ご返信いただくか、
はがきに記載してあるインターネットのアドレスにアクセスし画面の
案内に従ってご登録いただくと、通常2年間(BL商品)のメーカー保証
期間が3年間に延長されます。

3年保証延長の流れ



万が一故障の時には・・・

下記・パーパス修理受付センターまで、修理をお申し付けください。

◆ パーパス修理受付センター ◆ 通話料無料/365日24時間受付

TEL.0120-260-884 FAX.0120-261-884

今後ともパーパス製品をご愛顧の程、よろしくお願いたします。

※本件に関するお問合せ先 **点検・受付センター** TEL.0120-323-884 (受付時間/年中無休9:00 ~ 17:00)

個人情報利用目的について ご登録で取得いたしましたお客様の個人情報は、機器の修理・取替・点検の活動以外には使用しません。

商品保証書

ガスふろ給湯器

品名 GX-A2000AF-1

お買い上げ日	年 月 日		保証期間 および 保証対象区分	BL認定品	熱交換器	3年
お客様	ご芳名	様			それ以外の部分	2年
	ご住所					
販売店	店名	電話番号			取扱者	
	住所				印	

お客様へ

●この保証書をお受取りになるときに販売年月日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

●本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の通常のご使用により万一故障した場合には、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

- 保証期間は上記品名の機器をお買い上げの日から表記の期間とし機器本体を対象とします。
- 万一故障の場合はお買い上げの販売店または、弊社修理受付センターへお申し出ください。原則として出張修理をいたします。なお、離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合、出張に要する実費を申し受けます。
- サービス員が参上したときに本証書をお示しください。紛失されますと有料修理となる場合があります。
- 保証期間中でありまして次の場合には有料修理となります。
 - 当製品の取扱説明書、又は貼付ラベル等のご案内によらないでご使用になり故障した場合。
 - 当製品の工事説明書によらないで施工されたり、専門業者以外による修理、移動、改造等を行ったことにより故障した場合。
 - 設置環境の経年変化に伴う故障、及び塗装の色褪せ・摩擦等により生ずる機能に影響ない変化。
 - 海岸付近・温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する機能に影響ない変化。
 - ねずみ・くも等の生物活動に起因する故障。
 - 住宅用途以外(例えば業務用・船舶・車両上でのご使用)にてご使用された場合の故障。
 - 火災・地震・洪水・落雷等の天変地異、凍結又は暴動等の破壊行為による故障。
 - ガス・電気・給水の供給トラブルによる故障。
 - 熱量変更、又は移動等に伴う調整、確認作業。
 - 給水・給湯配管の錆び等異物混入による故障。
 - 温泉水・井戸水をご使用になったことによる故障。
 - 水道法に定められた飲料水の基準に適合しない水をご使用になったことによる故障。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- この保証書によって保証書を発行している者、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 商品や技術のお問い合わせ等はお買い上げの販売店または、弊社お客様相談室へお問い合わせください。

パーパス株式会社

〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田201

弊社窓口

修理受付センター(修理受付のみ) TEL 0120-260-884(通話料金無料) 携帯電話からは03-5682-4545へおかけください。 受付時間:年中無休 24時間修理受付	点検受付センター(点検制度のお問い合わせ先) TEL 0120-323-884(通話料金無料) 受付時間:年中無休 9:00 ~ 17:00	お客様相談室(商品や技術のお問い合わせ等) TEL 0545-32-1389 受付 平日 9:00 ~ 19:00 時間 土曜日・日曜日・祝日 9:00 ~ 17:00
--	--	---

ご連絡いただいた個人情報、弊社規定によりお問い合わせ対応に必要な範囲内で使用します。お問い合わせ内容につきましては、個人を特定できないデータに加工した後、サービス向上等のために利用いたします。